

男性トイレの個室への音姫の導入

思い立ったきっかけ

男性トイレに入る際に、水が流れる音がよく聞こえることに気づいた。よく観察しながらトイレに入ると、個室に入った人がすぐに水を流していることに気づいた。これは手動で音をかき消すために水を流しているのが原因ではないかと考えた。

解決策

上の問題はとにかく音をかき消すことが目的で水を流しているので、音姫のような疑似水流音を用意すれば容易にこの問題は解決できると考えた。

具体的な方法

男性用トイレの各個室に乙姫を設置する。また、その旨を周知するためにポスターなどを用いて使い方等を掲示する。

得られる効果

現在、名古屋大学の学生数は学部と大学院をあわせて約 16000 人であり、うち男子学生は約 7 割で約 10000 人に及ぶ。

また、一回のトイレで水を流す量は約 5L である。

そして一日に何人の男子学生がトイレを利用するか、どのくらいの割合の人が音をかき消すために水を流しているかは不明であるが、10%毎にデータをまとめると以下のようなになる。

トイレの音をかき消すために水を流す男子学生の割合	音姫の導入で1日あたりに節約できる水の量
10%	5000L
20%	10000L
30%	15000L
40%	20000L
50%	25000L

これはもし 10%の人が水を流すのを節約できるとすると、名古屋大学内で1日あたり 50m プール約 3 杯分の節水になる。これは単純なようでとても良い案ではないかと思う。

最後に

実際に概算してみると一工夫することでこんなに多量の水を節約できそうだと知れて面白かった。また、男性のみに着目したので性別関係なく省エネできるようなアイデアも思いつきたいと思った。

しかし今回挙げた方法では新たに導入しなければならないものもあり、なかなか難しいかもしれないとも思った。そのため、大きな省エネ効果には結局個人のこまめな意識が大切だと思った。ゼロカーボン社会に向けて、自分も意識を改めて省エネに取り組みたいと思う良いきっかけになった。